**【６月の流し原稿（参考）】　　　　　２０２０年６月１２日　　　日本共産党埼玉県委員会・作成**

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

緊急事態宣言が解除されましたが、感染拡大の「第２波」に備え、さらなる感染防止対策が必要です。

日本共産党は、医療・介護・福祉施設内での感染拡大を防止するため、無症状の人も含め、すべての関係者がＰＣＲ検査を受けられるよう国に強く求めていきます。。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

経済的困難を抱えた多くの学生が声をあげ、困窮学生への支援制度が実現しました。大きな成果です。

しかし、雇用情勢の悪化で、学生の経済的困難は引き続き深刻です。

日本共産党は、大学の授業料の一律半額、給付型奨学金の拡大を引き続き求めていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

子どもたちが待ち望んでいた学校再開が始まりました。

一方で、「学校に行くのがつらい」「コロナのことを考えると嫌だ」など心に負担を感じている子どもも少なくありません。子ども一人ひとりに心寄せ、丁寧に対応することが何よりも必要だと考えます。

２０人ほどの授業を続けるため、日本共産党は教員の１０万人増員を国に強く迫っていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

コロナの影響が広がるなか、住民からさまざまな相談が寄せられています。

各種の支援制度を紹介した、しんぶん赤旗の記事がたいへん好評です。

国民に役立つ情報を伝える、日本共産党の「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひ、お読みください。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

コロナ対応で医療機関の財政負担がいっそう大きくなっています。

このままでは、財政的に破綻する病院も生まれかねません。

日本共産党は、医療機関への抜本的な財政支援を国に強く求めていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

コロナ終息のカギは、ＰＣＲ検査を大量に実施し、感染の実態を正確につかむことです。

埼玉県は医師会と協力し、県内に２０ヶ所を超える検査センターを設置しました。

日本共産党は、検査センターの体制拡充のため、国の財政支援を強く求めていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

新型コロナ危機のもと、雇用情勢はきわめて深刻です。

雇用維持の命綱である雇用調整助成金は、申請手続きがとても煩雑で、その支給は、ほんの一部にとどまっています。

日本共産党は、「先に支給を、審査は後に」と、雇用調整助成金の手続きの簡素化を国に強く求めていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

子どもたちが待ち望んでいた学校再開が始まりました。

一方で、「学校に行くのがつらい」「コロナのことを考えると嫌だ」など心に負担を感じている子どもも少なくありません。子ども一人ひとりに心寄せ、丁寧に対応することが何よりも必要だと考えます。

２０人ほどの授業を続けるため、日本共産党は教員の１０万人増員を国に強く迫っていきます。

●ご近所のみなさん、こちらは日本共産党です。

コロナの影響が広がるなか、住民からの相談が次々と寄せられています。

各種の支援制度を紹介した、しんぶん赤旗の記事がたいへん好評です。

国民に役立つ情報を伝える、日本共産党の「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひ、お読みください。